

週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

<先週の説教から>

『詩編 51⑩ — 主よ、私の唇を開いてく
ださい!』 武田真治牧師

詩編 51:12~21 ヘブライ手紙 13:12~16

この詩編は、150篇あるこの詩編の中でも最も詩編らしい詩編だと!その理由は、美しい構造と言葉を持っていること、内容が詩編で最も多い《個人の祈り・嘆きの歌》であること、そして何より、詩編の作者と言われるダビデ王と直接に関係しているという理由からです。

前回は、この詩編の11節までを、特にダビデの人生と照らし合わせながら読みましたが、今日の後半の部分はむしろこの詩編の言葉そのものが多くの人々に力強い励ましや救い、信仰を与えて来たことを紹介できればと願います。

その言葉が何より12節の「神よ、わたしの内に清い心を創造し、新しく確かな霊を授けてください」です。この「創造する」は、原文では(バーラー)という言葉で、神様にしか用いられません。“何も無いところから新しいものを創造する”という意味だからです。この詩編の祈り手(=罪を犯したことを深く自覚している)は、自分の力だけでは、とても新しく清い心を創り出すことが出来ないと分かっているのです。それは神様にしか出来ないと。ここに深い“悔い改め”が見られます。そして、その為に、何より神様から与えてほしいと願っているものが「(聖なる)霊」なのです。

この「霊」という言葉も(ルアハー)で、あの創世記で神様が人間を創られた時に、鼻の穴から神様が吹き入れられた命の息が(ルアハー)です。新しく“生きる力”を与えてくれるものが《神様の(聖)霊》だと言い得ますね。

まさに、今週の木曜日は『主の昇天日』です。イエス様は天から私たちに“聖霊”を注ぐために「天へと昇られた」と言っても過言ではありません。そして、そこから私たちひとり一人に聖霊を与え続けてくださっています。そのことを感謝して、天におられる主を見上げることで、前を向いて生きていけますように願います。

そして17節「主よ、わたしの唇を開いてください。この口はあなたの讚美を歌います」という言葉は、代々のキリス

ト教の<礼拝>の「招詞(招きの言葉)」として、或いは、説教者が「説教」を語る前の祈りの言葉として、ずっと用いられて来た言葉として有名です。何より、この礼拝で、私たちの口から出る言葉が不平や不満、醜い批判や悪口ではなく、あなたへの讚美でありますようにと!また、説教者個人の思想や考えではなく、神様が説教者の唇に与えてくださった“み言葉”を語れますようにと祈るのです!

これらの言葉から、有名な讚美歌『Great God, Create my heart anew』を作ったのが、アイザック・ウォッツでした。彼はこの詩編のこれら言葉から発想を得て、『偉大な神よ、私の心を新しく創造してください。おお、あなたの愛が私の唇に靈感を与え、救いこそが私の歌のすべてとなりますように。私の力も強さも正しさもすべて主を讃えることに加えられるように』と歌っています。その他に、モーツァルトもバッハもメンデルスゾーンも、この詩編の言葉に曲を付けています。“讚美する心”を与えたまえと!

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 6月4日(水) 20:00

II. 6月5日(木) 10:30

聖書研究: ローマの信徒への手紙

祈祷主題: ペンテコステ礼拝、花の日・

こどもの日を覚えて

担当者: (水) 岩井 (木) 高橋

祈りに覚える人: 盧さん 羽倉さん

【教勢報告】

主日礼拝 男17 女48 計65

祈祷会 I. 男4 女1 計5 II. 男1 女7 計8

日曜学校 幼稚科6 小中科10 計16

ひつじ雲の会<5月26日(月)> 男0 女6 計6

【次週主日礼拝】 6月8日(日)

聖書: 使徒言行録 2:1~11

説教: 「ペンテコステ・花の日合同礼拝—

動き出した教会」 武田真治牧師

讚美歌: 490(子供137)、32(子供27)、聖歌隊(406)、
60(子供58)、544(子供118)、24(子供25)

【次週当番表】

司式: 坂田長老 奏楽: 中村 礼拝: 齋藤長老

献金: 黒澤 小杉 受付: 鈴木 橋本

会堂準備: 飯島 岡本 金刺 中村

森本

看板: 岩佐 週報: 金刺 お花: 茨木

【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会 ・求道者会

礼拝後: ・大掃除 ・聖歌隊練習

・壮年会 ・婦人会 ・ダビデ会

2025年 6月 1日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>